

プログラム

11月1日(土) 第1会場(メインホール)

開会の辞 会長：西島 栄治(愛仁会高槻病院 小児外科) 8:05～8:10

注：*がつく番号の発表者はフロア最前列から討議に加わってください。

セッション1 [重症染色体異常児に対する外科治療] 8:10～9:50

座長：葦澤 融司(杏林大学 小児外科)

西島 栄治(愛仁会高槻病院 小児外科)

指定発言：窪田 正幸(新潟大学 小児外科)

- 1-01*** 当院における18トリソミー長期生存例と現在の問題点(4分)
高田 斉人 兵庫県立塚口病院 小児外科
- 1-02*** 食道閉鎖症合併18トリソミー患児に対する外科治療の経験(4分)
福里 吉充 沖縄県立中部病院 小児外科
- 1-03*** 臍帯ヘルニア根治術を施行され、その後も積極的な医療介入を行い
長期生存中の18トリソミーの成人例(4分)
南風原 明子 土浦協同病院 小児科
- 1-04*** 治療方針が異なった致死性の染色体異常(13・18トリソミー)を合併した
臍帯ヘルニアの3例(4分)
鴻村 寿 国立病院機構 長良医療センター
- 1-05*** 当院で経験した18トリソミー4例の検討
—手術療法の意義についての考察—(4分)
下野 隆一 香川大学 小児外科
- 1-06** 当院における小児外科奇形を伴う13・18トリソミー児の
外科治療の現状(6分)
尾藤 祐子 兵庫県立こども病院 外科
- 1-07** 外科疾患を伴った13、18trisomy 症例の検討(6分)
渡邊 佳子 杏林大学医学部 小児外科
- 1-08** 13トリソミー・18トリソミー児に対する治療方針の決定(6分)
宮本 和俊 旭川医科大学医学部 外科学講座 小児外科
- 1-09** 13・18トリソミーに対する外科治療の適応(6分)
薄井 佳子 自治医科大学 小児外科

- 1-10** 当院における重症染色体異常症例に対する小児外科医の関わり(6分)
脇坂 宗親 聖マリアンナ医科大学 小児外科
- 1-11** 当院における18trisomy児への治療介入とその予後の検討：
倫理的観点からみた外科医の役割(6分)
荒井 勇樹 新潟大学大学院 小児外科
- 1-12** 重症染色体異常に対する治療方針の変遷(6分)
大野 耕一 大阪市立総合医療センター 小児外科
- 1-13** 当院における13トリソミー、18トリソミーに対する外科的治療介入(6分)
澁谷 聡一 長野県立こども病院 外科

休 憩 10分

9:50～10:00

セッション2 [出生前に診断された胎児に対する小児外科医の関与] 10:00～11:00

座長：田口 智章(九州大学 小児外科)

西島 栄治(愛仁会高槻病院 小児外科)

指定発言：漆原 直人(静岡県立こども病院 小児外科)

- 2-01** 当院での出生前診断後の両親への関わり方について
～出生直前に治療拒否された1例を経験して～(4分)
片山 修一 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
- 2-02** 小児外科領域疾患における出生前診断と倫理：産科診療の立場から(6分)
西口 富三 静岡県立こども病院
- 2-03** 胎児診断された先天性横隔膜ヘルニアに対する
ECMO治療選択の倫理課題(6分)
光永 哲也 千葉大学大学院 小児外科学
- 2-04** 当院におけるプレネイタルサポートチームの活動について(6分)
津川 二郎 愛仁会高槻病院 小児外科
- 2-05** 周産期医療現場における小児外科医の倫理的諸問題(6分)
永田 公二 九州大学大学院医学研究院 小児外科学分野
- 2-06** EXITにて出生した巨大顔面奇形腫の1例(4分)
横井 暁子 兵庫県立こども病院 外科
- 2-07** 先天性外科疾患と胎児緩和ケアの概念(4分)
窪田 昭男 和歌山県立医科大学 第2外科

座長：西島 栄治(愛仁会高槻病院 小児外科)

小児医療と生命倫理と法

丸山 英二 神戸大学大学院法学研究科 教授

ランチオンセミナー3

12:00～13:00

座長：川原 央好(浜松医科大学 小児外科)

小児栄養管理におけるカルニチンを考えましょう

位田 忍 大阪府立母子保健総合医療センター 消化器・内分泌科

共催：大塚製薬

セッション3 [胎児に操作を加える医療]

13:00～13:40

座長：黒田 達夫(慶応義塾大学 小児外科)

前田 貢作(兵庫県立こども病院 外科)

指定発言：仁尾 正記(東北大学 小児外科)

3-01 中絶倫理の歴史(6分)

羽金 和彦 国立病院機構 栃木医療センター

3-02 障害胎児の人工妊娠中絶は倫理的に許されるか(6分)

松永 正訓 松永クリニック小児科・小児外科

3-03 胎児治療法の臨床的評価と胎児治療の倫理(6分)

左合 治彦 国立成育医療研究センター

セッション4 [十分な説明に基づく同意と治療選択]

13:40～14:40

座長：岩中 督(東京大学 小児外科)

西島 栄治(愛仁会高槻病院 小児外科)

指定発言：米倉 竹夫(近畿大学奈良病院 小児外科)

4-01 エホバの証人～小児の輸血について(4分)

瓜田 泰久 筑波大学 臨床医学系 小児外科

4-02 “エホバの証人”が両親の小児外科疾患患児に対する治療倫理(4分)

杉山 正彦 東京大学医学部附属病院 小児外科

4-03 身寄りのない成人重症心身障がい者に対する外科治療における
インフォームドコンセント(4分)

藤代 準 東京大学医学部 小児外科

4-04 院内術前合同カンファレンスで手術適応を検討した
Tay-Sachs 病の2例(4分)

平松 友雅 東京慈恵会医科大学 外科学講座

4-05 排泄障害・性機能障害を有する患者に対する疾患告知と
心理的ケアの必要性について(6分)

東間 未来 埼玉県立小児医療センター

4-06 インフォームド・コンセント上の問題点に対する検討(6分)

伊勢 一哉 福島県立医科大学附属病院 小児外科

4-07 日本小児外科学会の悪性腫瘍登録事業における倫理課題(6分)

文野 誠久 京都府立医科大学 小児外科

休 憩 10分

14:40～14:50

セッション5 [治療方針(拒否、差し控え、中止、緩和医療含む)]

14:50～16:15

座長：窪田 昭男(和歌山県立医科大学 第2外科)

西島 栄治(愛仁会高槻病院 小児外科)

指定発言：松藤 凡(聖路加国際病院 小児外科)

5-01 * 心肺蘇生後、家族より治療拒否された免疫不全症の1例(4分)

大竹 紗弥香 群馬大学大学院 病態総合外科学

5-02 * 医療ネグレクトに対する親権の一時停止を行ったが、治療同意が得られ
手術を行った仙尾部成熟奇形腫の1例(4分)

高見澤 滋 長野県立こども病院 外科

5-03 * 治療中止希望のあった先天性横隔膜ヘルニアを合併した
Cornelia de Lange 症候群の1例(4分)

向井 亘 地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 小児外科

5-04 * 治療方針が議論となった体の変形による気道閉塞で死亡した
重症心身障がい者の一例(4分)

三宅 啓 静岡県立こども病院 小児外科

5-05 周産期に倫理的対応を要した症例の検討(4分)

小笠原 有紀 順天堂大学医学部附属浦安病院 小児外科

- 5-06** 当科における新生児低酸素性虚血性脳症症例での治療拒否2例の経験(4分)
澤井 利夫 近畿大学医学部 外科学教室 小児外科部門
- 5-07** 新生児期に必要な外科治療を希望しなかった2例(4分)
大島 雅之 長崎大学病院 小児外科
- 5-08** 治療差し控えを考慮する新生児外科疾患に対する小児外科医のあり方(6分)
望月 響子 神奈川県立こども医療センター 一般外科
- 5-09** 重症脳障害後の栄養療法における課題(6分)
尾花 和子 山梨県立中央病院 小児外科
- 5-10** 当院における総排泄腔外反および膀胱外反に対する治療の現状(6分)
吉田 志帆 順天堂大学 小児外科・小児泌尿生殖器外科
- 5-11** 遺伝子・染色体異常を有する小児外科疾患治療に関する倫理について(6分)
廣谷 太一 石川県立中央病院いしかわ総合母子医療センター 小児外科
- 5-12** 当院における外科的疾患を有する極・超低出生体重児の検討
倫理的観点をふまえて(6分)
中村 弘樹 順天堂大学 小児外科・小児泌尿生殖器外科

セッション6 [移植医療と倫理]

16:15～16:45

座長：八木 實(久留米大学 小児外科)

横井 暁子(兵庫県立こども病院 外科)

- 6-01** 高度肝障害合併腸管不全患児に対し、異時性生体肝-脳死小腸移植術を
施行した1例(4分)
工藤 博典 東北大学病院 小児外科
- 6-02** 小児生体肝移植の適応はだれがどう決めるのか(6分)
猪股 裕紀洋 熊本大学医学部附属病院 小児外科・移植外科
- 6-03** 脳死肝移植待機者が抱える倫理的問題点について(6分)
佐々木 英之 東北大学医学系研究科 小児外科学分野

閉会の辞 会長：西島 栄治(愛仁会高槻病院 小児外科)

16:45～16:50

次期会長挨拶 次期会長：猪股 裕紀洋(熊本大学 小児外科・移植外科)

16:50～16:55